



本事業は、SDGsの「17 パートナシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2024年5月26日（日）
愛知県政策企画局国際課
国際戦略グループ
担当 上窪、富田
内線 2256、2448
ダイヤル 052-954-6130

知事の米国渡航中の行事結果について

2024年5月25日（土）午前、知事は米国インディアナ州インディアナポリスにおいて、インディアナ・グローバル経済サミット関連イベントとしてインディアナ州から招待をいただき、「インディアナポリス 500」のガレージツアーに参加しました。

午後には、インディアナ州経済開発公社、スタートアップ関係機関等とスタートアップ支援やイノベーション創出などについて、意見交換を行いました。

1 「インディアナポリス 500」ガレージツアー

(1) 日時

2024年5月25日（土）午前9時から正午まで

（日本時間5月25日（土）午後10時から26日（日）午前1時まで）

(2) 場所

インディアナポリス・モータースピードウェイ

(3) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(4) 内容

大村知事は、インディアナ・グローバル経済サミット関連イベントとしてインディアナ州から招待をいただき、「インディアナポリス 500」のガレージツアーに参加し、レース会場となるインディアナポリス・モータースピードウェイを視察しました。

【インディアナポリス 500 概要】

○日時：2024年5月26日（日）午後0時45分から

○会場：インディアナポリス・モータースピードウェイ

○内容：F1 モナコグランプリ、ル・マン 24 時間レースと並ぶ世界 3 大レースの一つとされ、毎年 5 月末の戦没者記念日（Memorial Day）前日の日曜日に開催される。1 週 2.5 マイル（4.023km）のコースを 200 周、計 500 マイル（804.672km）を走行する。2017 年（第 101 回目）には、佐藤琢磨^{さとうたくま}氏が日本人ドライバーとして初めて優勝し、2020 年（第 104 回目）に 2 回目の優勝を果たしている。

【インディアナポリス・モータースピードウェイ概要】

○開設：1909 年（現存する最古のレース専用コース）

○収容人数：250,000 人（固定席）※スポーツ施設として世界最大
400,000 人（仮設席含む）

○トラック：1 周 2.5 マイル（約 4km）

2 スタートアップ関係機関との意見交換

(1) 日時

2024年5月25日(土) 午後2時25分から午後4時15分まで
(日本時間5月26日(日) 午前3時25分から午前5時15分まで)

(2) 場所

エマージング・マニファクチュアリング・コラボレーション・センター

(3) インディアナ州側出席者

インディアナ州経済開発公社 ライアン・ロック ベンチャーファイナンス副社長
ジェネレーター
Gener8tor トラビス・シュテッグモラー 法務統括責任者

プラグ アンド プレイ
Plug & Play ブランドン・ノール インディアナ州担当ディレクター
州政府駐日代表事務所 ポール・ローランド駐日代表

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

意見交換では、まず、インディアナ州経済開発公社から、同州におけるスタートアップ支援に関する取組として、テクノロジー、ライフサイエンス、農業、ソフトウェアなど分野別のインキュベーション施設の整備や、州内に本社を置く企業への財政支援などの説明を受けました。

大村知事からは、「愛知県は自動車産業をはじめ航空宇宙産業やロボット産業などが集積する日本一の産業県であり、その産業集積を背景に、世界中からスタートアップや事業会社を誘致し、スタートアップと事業会社などとのオープンイノベーションの拡大に向けた独自のスタートアップ・エコシステムの形成を目指す取組を進めている。」と、英語で紹介しました。

また、「今年10月に予定している日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」の開業に向けて、国内外の企業、スタートアップ支援機関や大学等と連携関係を構築しており、インディアナ州の関係機関とも連携を深めていきたい。」とPRしました。

その後、アクセラレータ・ベンチャーキャピタルのGener8torと、世界50か所以上でアクセラレータプログラムを運営するPlug&Playが、それぞれの取組を紹介し、愛知県との連携への期待を述べました。大村知事が「既にPlug&Play日本法人は愛知県のシンガポール・スタートアップ・エコシステム連携事業で連携している。」と話したところ、同社から、先週シンガポール国立大学とパートナーシップを締結した旨の説明がありました。

大村知事は、「今後もスタートアップ支援の分野で関係を深め、連絡を取りながら具体的な協議を進めていきたい。」と話しました。

意見交換の後、会場となったインキュベーション施設「エマージング・マニファクチュアリング・コラボレーション・センター」を視察し、特に、レーシングカーを自動運転で走行させるプロジェクトに興味深く視察しました。



STATION Ai について説明する大村知事①



STATION Ai について説明する大村知事②



スタートアップ支援の取組に関する意見交換①



スタートアップ支援の取組に関する意見交換②



自動運転のレーシングカーを視察する様子①



自動運転のレーシングカーを視察する様子②



自動運転のレーシングカー



記念撮影